

地震発生時の行動

地震から身を守るポイントは、いつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考に、どのような行動をとるべきか覚えておきましょう。



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

家の中では

料理中なら	寝ていたら	入浴中なら	TVを見ていたら
火事の危険性を防ぐため、身を守り、落着いて火を消しましょう。	布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。	あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。	重い家具の近く、電灯の真下等から離れましょう。

家の外では

買い物中なら	車の運転中なら	電車に乗っていたら	仕事・授業中なら
買い物カゴや鞄で頭を守り、店員の指示に従いましょう。	道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを置いたまま避難しましょう。	吊革や手すりにつかり、体が放り出されないようにしましょう。	本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。
ビル街を歩いていたら	住宅地を歩いていたら	エレベーターの中にいたら	地下街にいたら
ガラスの破片、看板等に注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。	ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。	すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。	停電になっても誘導灯がつくので、落ち着いて係員の指示に従いましょう。

海岸部では津波にも注意

南海トラフ巨大地震が発生すると、岸和田市内の地震動は最大震度6弱、津波は地震発生後約93分で最大高4.4mの津波が到達すると想定されています。テレビやラジオ等の情報に注意し、**南海本線より東側(山側)**へ徒歩で避難しましょう。また、津波は何度も押し寄せてきます。水が引いても安全が確認できるまで避難場所等に留まりましょう。



津波注意!

1分～3分 火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声をかけ合い、お互いの安全確認！

火の元の確認・初期消火

火事の危険性を防ぐため、靴をはく（ガラスの破片等から足を守ります）

靴をはく



出口を確保



非常持出品の用意を！
ガスの元栓・電気のブレーカーを切る！

3分～5分 正しい情報を得る

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認！



NHK等のデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

防災行政無線・広報車

防災行政無線や広報車等で緊急情報を知らせします。

緊急速報メール

避難指示発令等緊急性の高い情報を、岸和田市内に存在する携帯電話に一斉送信します。

大阪府おおさか防災ネット

あらかじめ登録した携帯電話やパソコンへ、緊急情報等の内容を配信します。

5分～数時間 状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険等があれば、避難！

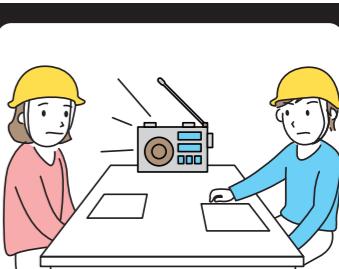
隣近所の安否確認



各町内会・自治会で安否確認



地域ぐるみで協力し合って救急・救護・初期消火



「地震がおさまったからもう大丈夫！」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。また、大地震の後は数ヶ月間、同程度の地震が起こることもありますので油断せずに行動しましょう。